

09年5月27日ヨーク郡警察ニュース

JSS 和訳

取締強化週間;ニューマーケットの

街路から麻薬排除

ヨーク郡警察第一管区資産犯罪部は、8人を逮捕、麻薬多数及び模造拳銃を押収し、街路上の麻薬取締強化週間を終了した。

郡警察は管轄地域の若者に、安全で危険がなく、親しみやすい学習環境が提供されることを約束している。この約束実現のため、第一管区の係官は、ニューマーケット地区の学校ないしは教育機関周辺での麻薬取締強化週間を開始した。この活動は09年の5月20日から25日にかけて進められた。

係官はこの期間中、高等学校周辺を看視し、多くの麻薬取引現場を摘発した。その結果、8人が逮捕され、麻薬関連犯罪行為のため2人が告訴された。

残りの6人は釈放された。初期捜査に基づき、薬物規制法に基づく家宅捜査が、ニューマーケットにある住宅で行われた。

この結果係官は、1.4kg(市価\$10,000相当)のマリワナ、16gの魔法のきのこ(市価\$400相当)および模造拳銃を押収した。

告訴されたのは、

- ・ ニューマーケット在住の17才の男性
- ・ ニューマーケット在住の14才の男性

嫌疑は

- ・ 規制薬物の密売目的での所持
- ・ 規制薬物の所持
- ・ 規制薬物の密売

(以下略)

JSS 説明

頻繁に行われている変哲のない麻薬取締りに関する記事に見えるが、よく読んでみると取締りが高校周辺で行われており、警察が焦点を当てて取り締まりを行う場所としてこのような地域が選ばれることに注目したい。

当地と日本では、麻薬に関する社会の常識にかなり差がある。先日も、市中心の州議事堂付近でマリワナ吸引を合法化せよというデモがあったし、一説によると、学生、特に大学生の間では、マリワナの吸引はほとんど常識になっているともいう。この傾向は高校ないしは中学にも広がりつつあると言われている。

一方日本では、以前に比べると麻薬使用の認識に差があるようにも感じられ、以前にはあまり聞かなかったほどの多くの人がマリワナ吸引や保有、ないしは麻薬の流通に手を貸したなどの訴因で官憲に取り締まられ、有罪となっている。

当地で生活する日本人で、特に学齢期の子供を持っている人の場合、日本とは異なり、マリワナなど麻薬の使用がほとんど常識になっている(もちろん非合法である)環境がかなり広範囲にあることを十分意識してほしいと考える。